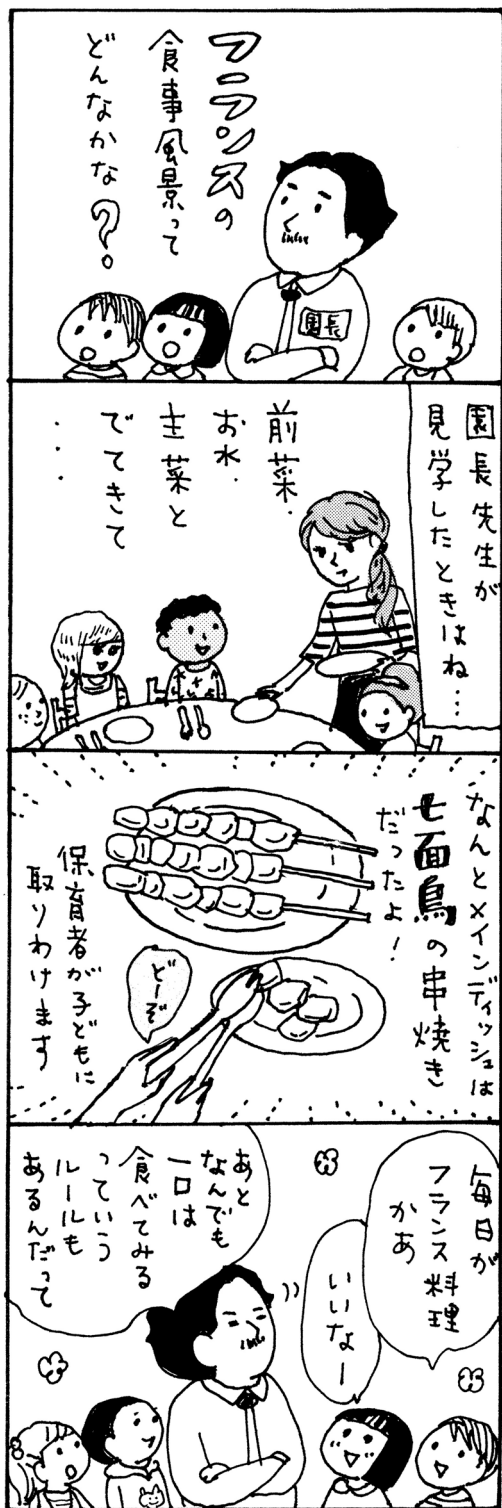


保育園での異文化体験エピソード



その13 ルールはあるけど、“食事は楽しく”



イラスト・うつろあきこ

昨年、フランスの幼児施設で、昼食風景を見学したときのことで。

丸いテーブルや長方形のテーブルに、友だち5、6人と保育者1人が座ります。各テーブルには、お皿やフォーク、スプーンが並べられ、バスケットの中には、スライスされたフランスパンが。

まずは前菜が出され、続いて、スープのかわりに、お水。牛乳は出ません。そして主菜。

この日のメインディッシュは、なんと！七面鳥のお肉の串焼き。

保育者と子どもたちはテーブルについたまま、出されるお料理をいただきます。食事の準備や給仕は、担当の保育者たちが行います。

毎日がフランス料理。「なんだか食べられそうにない」という食材があっても、一口食べてみる、というルールがあるとのこと。ちなみに、子どもたちの人気メニューはハンバーグ、フライドポテト、パスタ、ミートソース、ピザ、そして米飯。

“食事は楽しく”がモットーなのだそうです。

(中山利彦／東京都新宿区・新宿せいが保育園副園長)

「地球家族ネットワーク」へのお誘いとエピソードのお願い

保育は、世界中の人と仲よく生活できること（平和）を伝える役割があります。

そこで、国際交流や外国籍の子どもたちの保育について情報交換をしたい方は、「地球家族ネットワーク」に参加してみませんか？！

また、外国籍の子どもを受け入れて、心に残るエピソードがありましたら、ぜひお寄せください。

全私保連 保育国際交流運営委員会

TEL 03-3865-3880 / FAX 03-3865-3879

E-mail : ans@zenshihoren.or.jp